

フロリダ大学交換留学 定期レポート

法文学部言語文化学科 林由奈

フロリダでの留学生生活を始めてから約1ヶ月が経過しました。今回は渡米前から現在までの留学生生活を振り返ろうと思います。フロリダ大学への留学に向けて本格的に準備を開始した当初は渡米するまでには十分な時間があると感じていましたが、VISA 面接に向けての準備やフロリダ大学への書類提出、アパート探しや履修登録など予想以上にやらなければならないことが多く、あっという間に渡米の日になったことを覚えています。正直、自分自身が10ヶ月間も海外で生活する想像ができていませんでした。

私は秋学期の授業開始日(8月20日)の1週間前である8月13日にフロリダに到着しました。フロリダ大学には学生寮があり私も一応希望を出しましたが、過去にフロリダ大学に留学された方が学生寮に入寮出来なかったと伺っていたため、キャンパス外のアパートも探しました。最終的に The Continuum Apartments というアパートに入居することになりました。私は2人用のシェアルームのプランで契約しました。アパートの入居日が8月15日だったため、8月13日・14日の2日間は近くのホテルに宿泊しました。

今学期は4つの授業を履修しました。私は言語学や英語学についての授業を主に履修しています。参考までに科目名を載せておきます。

①LIN2004-Languages of the World (オンライン授業)

②LIN2011-Introduction to Linguistics

③LIN2141-Linguistic Prejudice

④INS2004-International Studies Perspectives

どの授業も自分なりの意見を求められることが多いなと感じます。また専門用語などが多いため、予習が必須になり、平日はほとんど毎日図書館にいます。教授やTAの方が何を言っているのか聞き取れないこともよくあり落ち込むこともあります。授業後に質問をしてなんとかついていこうと頑張っています。

フロリダ大学だけではないと思いますが、こちらの大学はイベントの規模が大きく圧倒されます。クラブの数も多く、今は様々なイベントに参加してみて自分に合うものを探しています。ほとんどのイベントでは食事やお菓子が無料で提供されており、ピザやクッキーなどをもらうことができました。また、スポーツの規模にも驚かされました。先日ルームメイトとフットボールの試合を観戦したのですが、スタジアムの大きさや試合前のパフォーマンス、観客の数や熱量などの全てが大学生同士の試合だとは思えないほどでした。日本の大学ではあまり見ることでできない規模であり、これまであまり馴染みのなかったアメリカの大学スポーツの文化を実感することができました。

フロリダでの生活は、授業面では難しさや自分の英語能力が十分でないと感じる一方で、様々な国や地域の学生と交流したり、イベントに参加したりすることで自主的に行動することの大切さを強く感じます。今後も、授業や日常生活を通して英語能力を向上させることを目指すとともに、現地でしかできない経験や出会いを大切にしたいと思います。

フロリダ大学交換留学 定期レポート

法文学部言語文化学科 林由奈



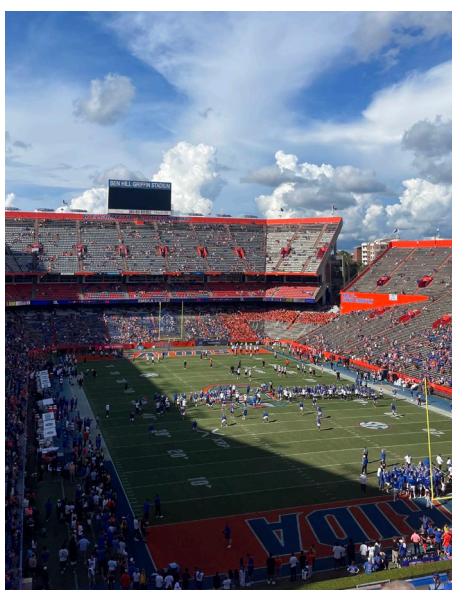
キャンパスの外観



キャンパス内の様々なところにワニの置物があります



イベントで提供された食べ物



フットボール観戦

Ben Hill Griffin Stadium (愛称: The Swamp)

(約 88,000 人の収容人数だそうです)